

【調査1】 市民一般調査

資料 4

<A>本人の基本情報

問1 令和4年12月1日現在のあなたの年齢をお伺いします。(○は1つ)

1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代
5 50歳代	6 60歳代	7 70歳代	8 80歳以上

問2 お住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

1 和泉本町	2 中和泉	3 西和泉	4 元和泉
5 東和泉	6 猪方	7 駒井町	8 岩戸南
9 岩戸北	10 東野川	11 西野川	12 その他()

問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合を含めます。(○は1つ)

1 未婚	2 配偶者あり	3 死別	4 離別
------	---------	------	------

問4 あなたと同居している人をお答えください。なお、「配偶者」には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合を含めます。(○はいくつでも)

1 配偶者	2 子	3 子の配偶者
4 実父	5 実母	6 配偶者の父・母
7 孫	8 祖父・祖母	9 兄弟
10 他の親族(曾祖父母・ひまご・おじ・おば・おい・めいなど)		
11 その他の人(ホームステイをしている人など)		
12 恋人・友人		
13 同居している人はいない → 次のページの問7へ		

【問4で「1」～「12」と回答した方へ】

問5 あなたと同居している人は合計で何人ですか。あなた以外の人数をお答えください。(○は1つ)

1 1人	2 2人	3 3人	4 4人	5 5人以上
------	------	------	------	--------

【問4で「1」～「12」と回答した方へ】

問6 あなたと同居している人のうち、収入を得ている人は合計で何人ですか。あなた以外の人数をお答えください。(○は1つ)

1 1人	2 2人	3 3人	4 4人	5 5人以上
6 収入を得ている同居人はいない	7 わからない			

【再び、全員の方へ】

問7 あなたが最後に卒業した学校又は現在、在学している学校をお答えください。(○は1つ)

1 小学・中学	2 高校(旧制中学校を含む)	3 専門学校
4 短大・高専	5 大学	6 大学院
		7 その他()

問8 あなたの現在の仕事をお答えください。(○は1つ)

1 正規の職員・従業員	2 派遣社員
3 パート・アルバイト(学生アルバイトを除く)	4 契約社員・嘱託
5 会社などの役員	6 自営業主
7 家族従業者・内職	8 学生・生徒
9 仕事をしていない(仕事を探している)	10 仕事をしていない(仕事を探していない)
11 その他()	

問9 あなたの現在の住まいをお答えください。(○は1つ)

1 持ち家(一戸建)	2 持ち家(マンションなどの共同住宅)
3 民営の賃貸住宅	4 都道府県・市営の賃貸住宅
5 都市再生機構(UR)・公社などの賃貸住宅	6 給与住宅(社宅・公務員住宅など)
7 会社・学校等の寮・寄宿舎	8 わからない
9 その他()	

問10 あなたの世帯の 2022(令和4)年における年間収入(税・社会保険料込み)をお答えください。自営業の場合には営業利益(税込み)をお答えください。(○は1つ)

1 100万円未満	2 100~199万円
3 200~299万円	4 300~399万円
5 400~499万円	6 500~699万円
7 700~999万円	8 1000~1499万円
9 1500万円以上	10 わからない

問11 あなたがコミュニケーションをとる際にお使いの情報通信機器をお答えください。(○はいくつでも)

1 固定電話・FAX
2 携帯電話・スマートフォン
3 タブレット型端末
4 パソコン
5 その他の通信機器(インターネットに接続できるゲーム機等)
6 人とのコミュニケーションには「情報通信機器」を使っていない

 社会とのつながり・社会的孤立について

社会的孤立は次の4つリスクがあるものとされています。

そのため、本調査で市民の社会的孤立の状況を把握し、このようなリスクを回避し、必要な支援を行ってまいります。

①自分自身からの疎外（自己認知不全）

⇒不安さえ感じられない（大丈夫です、と答える若者）

⇒当事者主体が成立しない

⇒自己認知には他者が必要

②生きる意欲や働く意欲の低下

⇒人は何のために働くのか・・・お金、食べるため（外発的動機）

⇒人は誰のために働くのか・・・愛する人のため（他者志向的動機）<重要>

③社会的サポートとつながらない

⇒どれだけ良い制度を創ってもつながらないと無いと同じ

④対処の遅延で問題深刻化・意欲一層低下⇒社会保障費の増大

「社会的孤立の実態・要因等に関する調査分析等研究事業報告書(2021(令和3)年4月 みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社)」P19 より

問 12 あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、①～⑤ごとにそれぞれお答えください。また、あなたと同居している人がいる場合、その人とのコミュニケーション頻度についてもお答えください。(①～⑤について、それぞれ○は1つだけ)

(1)【同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度】

	上	1. 週 4 ～ 5 回 以	度 2. 週 2 ～ 3 回 程	3. 週 1 回 程 度	程度 4. 2 週 間 に 1 回	5. 月 1 回 程 度	6. 月 1 回 未 満	7. 全 く な い
① 直接会って話す	1	2	3	4	5	6	7	
② 電話(ビデオ通話を含む)	1	2	3	4	5	6	7	
③ 郵便やFAX	1	2	3	4	5	6	7	
④ SNS(LINEによるチャットなど)	1	2	3	4	5	6	7	
⑤ 電子メールやショートメール	1	2	3	4	5	6	7	

(2)【同居している人たちとのコミュニケーション頻度】

(同居している人がいる場合にお答えください。)

	上	1. 週 4 ～ 5 回 以	度 2. 週 2 ～ 3 回 程	3. 週 1 回 程 度	程 度 4. 2 週 間 に 1 回	5. 月 1 回 程 度	6. 月 1 回 未 満	7. 全 く な い
① 直接会って話す		1	2	3	4	5	6	7
② 電話(ビデオ通話を含む)		1	2	3	4	5	6	7
③ 郵便やFAX		1	2	3	4	5	6	7
④ SNS(LINEによるチャットなど)		1	2	3	4	5	6	7
⑤ 電子メールやショートメール		1	2	3	4	5	6	7

問13 あなたは次に挙げる①～⑩の事柄で頼れる人はいますか。また、「1 いる」と答えた方にお聞きます。それはだれですか(あてはまる番号すべてに○をつけてください)。

事柄	頼れる人はいますか	それは誰ですか					
		1. 家族・親	2. 友人・知	3. 近所の	4. 職場の	5. 員・福祉の 民生委	6. その他
①子どもの世話や看病	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
②(子ども以外の) 介護や看病	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
③重要な事柄の相談	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
④愚痴を聞いてくれること	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
⑤喜びや悲しみを分かち合うこと	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
⑥いざという時のお金の援助	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
⑦日頃のちょっとしたことの手助け	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
⑧家を借りる時の保証人を頼むこと	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
⑨福祉施設や病院等に入所・入院する際に身元保証人を頼むこと	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
⑩成年後見人等を頼むこと(*)	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6

*様々な理由で判断能力が十分ではない方々は財産管理や福祉サービス等の利用契約など1人で行うことが難しいことがあります。また、悪質商法の被害にあうおそれもあります。このような方々を法的に保護し、支援するのが成年後見制度です。

問 14 あなたは現在、行政機関や NPO 等の民間団体から、困りごとに対する支援(対価を直接支払うものを除く。)を受けていますか。(○は1つ)

1 受けている	2 受けていない	3 わからない
↓	└─▶ 問 14—4へ	└─▶ 問 15へ

【問 14 で「1 受けている」と回答した方へ】

問 14—2 あなたはどこから支援を受けていますか。(○は1つ)

1 行政機関(国や自治体)	2 社会福祉協議会
3 NPO 等の民間団体・ボランティア団体	4 自治会・町内会
5 その他()	

【問 14 で「1 受けている」と回答した方へ】

問 14—3 あなたはどのような支援を受けていますか。(○は1つ)

1 経済的な支援(給付や貸付等)	2 現物提供等の支援(食料品・日用品の提供)
3 人的な支援(世話や介護)	4 相談支援(助言や情報提供等)
5 その他()	

【問 14 で「2 受けていない」と回答した方へ】

問 14—4 その理由をお答えください。(○はいくつでも)

1 支援が必要でないため	2 支援が必要だが、我慢できる程度であるため
3 支援の受け方がわからないため	4 支援を受けるための手続きが面倒であるため
5 支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため	6 支援を受けると相手に負担をかけるため
7 支援を申し込んだが断られたため	8 その他()
(支援対象外の場合を含む)	

問 15 あなたは、①～④の人が、次に挙げる 1 から 7 の事柄について助けを必要としているときに、それらの事柄をしますか(○はいくつでも)。

	1 子ども もの世話 や看病	2 (子ども も以外 の)介護 や看病	3 重要 な事柄の 相談	4 愚痴 を聞くこ と	5 喜び や悲しみ を分かち あうこと	6 いざ という時 のお金の 援助	7 日頃 のちょっ とした手 助け	8 1～7 のことは しない
① 家族・親族	1	2	3	4	5	6	7	8
② 友人・知人	1	2	3	4	5	6	7	8
③ 近所の人	1	2	3	4	5	6	7	8
④ 職場の人	1	2	3	4	5	6	7	8

問16 あなたは次に挙げる①～⑧の会やグループに参加していますか。(○はそれぞれ1つ)

	1. 1年以上前から参加している	2. この1年以内に新たに参加するようになった	3. 参加したいができない	4. 参加する予定はない
① 町会・自治会	1	2	3	4
② ボランティアやNPO	1	2	3	4
③ 宗教団体(檀家や氏子を含む)	1	2	3	4
④ PTA や保護者会	1	2	3	4
⑤ 趣味の会やスポーツクラブ	1	2	3	4
⑥ 職場内の会やグループ	1	2	3	4
⑦ 同じ学校出身者の会やグループ	1	2	3	4
⑧ 地域のサロンや居場所	1	2	3	4

問17 さみしい気持ち(孤独感)を日頃、感じますか。

1 とても感じる	2 やや感じる	3 あまり感じない	4 感じない
----------	---------	-----------	--------

<C> 感染症の影響について

問18 新型コロナウイルス感染拡大により、人とのコミュニケーションにどのような変化がありましたか。①及び②について、それぞれお答えください。(①及び②について、それぞれ○はひとつだけ)

	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った
① 人と直接会ってコミュニケーションをとること	1	2	3
② 人と直接会わずにコミュニケーションをとること (例:手紙、電話、SNS、インターネットなど)	1	2	3

問19 新型コロナウイルス感染拡大により、日常生活にどのような変化がありましたか。①～⑤について、それぞれお答えください。(①～⑤について、それぞれ○はひとつだけ)

	1. 良くなった	2. まあ良くなった	3. 変わらない	4. やや悪くなった	5. 悪くなった
① 生活全体	1	2	3	4	5
② 家族との関係	1	2	3	4	5
③ 家族以外の親しい人との関係	1	2	3	4	5
④ 地域・社会とのつながり	1	2	3	4	5
⑤ 学習環境・職場環境(学び方・働き方を含む)	1	2	3	4	5

<D>外出(ひきこもり)の状況について

ひきこもり状態にある方やそのご家族は、それぞれ異なる経緯や事情を抱えており、社会的に孤立し、生きづらさを感じている方も多くいらっしゃいます。

市では、このような方々をしっかりと受け止め、安心して過ごせる場所があり、自らの役割を感じられる機会が得られるような地域社会を創ってまいりたいと考えております。

そのため、本調査でひきこもり状態にある方やそのご家族、周囲の方のお声を受け止め、皆さまのお声を踏まえて、より相談しやすい体制を構築し、必要な支援、施策を進めてまいります。

○ 本アンケートにおけるひきこもり状態にある方とは・・・

概ね 15 歳から 65 歳未満の者で、次に該当するような方

① 仕事や学校にいかず、かつ、家族以外の人との交流をほとんどせずに 6 か月以上続けて、自宅にひきこもっている状態の方

② 上記のような社会的参加ができない状態であるが、時々買い物などで外出することがある方

例) ・普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける

・普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する

※ ただし、いずれも重度の障がいや疾病等で外出できない方を除きます

問20 あなたやあなたの周りの方に「ひきこもり」の状態にある方(仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方)はいますか。(○は1つ)

1 いる	2 いない	3 わからない
------	-------	---------

問 27 へ

【問20で「1 いる」と回答した方へ】

問 20-1 ひきこもり状態やその可能性のある方を把握している方にお聞きします。

- ・該当者が2人以上いる場合は、年齢の一番低い方についてお答えください。
- ・その方の状況や世帯について把握している範囲でお答えください。
- ・明確に分からない場合は、推察又は無記入で結構です。

問21 その方とあなたの関係を教えてください。(○は1つ)

1 (回答者)本人	2 家族	3 親族
4 学校、職場などの知人	5 近所の人	6 SNSなどで知り合った人
7 その他()		

問22 その方の年齢を教えてください。(○は1つ)

1 20歳未満	2 20歳代	3 30歳代
4 40歳代	5 50歳代	6 60歳代
7 70歳代	8 80歳以上	

問23 その方の交流の状況について、お答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------------------|--------------------------|
| 1 家族ともほとんど会話がな | 2 家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない |
| 3 人と会うことはほとんどないが、SNS、インターネット等を通じて人と交流している | |
| 4 趣味のために人と会うことはある | 5 近隣住民とは交流がある |

問24 その方はふだんどれくらい外出しますか(新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛を除く)。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 1 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する | 2 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける |
| 3 自室からは出るが、家からは出ない | 4 自室からほとんど出ない |
| 5 その他 | |

└─▶ 問26へ

【問24で1～4に○をつけた方のみにお伺いします】

問25 その方がその状態になってどのくらい続いていますか。(○は1つ)

- | | | | | |
|---------|----------|---------|--------|---------|
| 1 6カ月未満 | 2 6カ月～1年 | 3 1年～5年 | 4 5年以上 | 5 わからない |
|---------|----------|---------|--------|---------|

問26 その方がその状態になったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 疾病や障がい(精神的なもの) | 2 疾病や障がい(身体的なもの) |
| 3 失業・退職 | 4 受験や就職で失敗した |
| 5 学校や職場でのいじめや疎外感 | 6 不登校(小学校) |
| 7 不登校(中学校) | 8 不登校(高等学校) |
| 9 性格的なもの | 10 事故や犯罪 |
| 11 特にきっかけや理由はない | 12 きっかけがわからない |
| 13 その他 () | |

<E>再犯防止について

平成28年12月、「再犯の防止等の推進に関する法律」が成立・施行されました。この法律は、犯罪をした者が円滑に社会の一員として復帰することができるようにすることで、国民が犯罪による被害を受けることを防止し、安全で安心して暮らせる社会の実現に寄与することを目的としており、これまで刑務所や保護観察所などの国の機関が中心となって推進してきた再犯防止施策について、地方公共団体もその実施の責務を有することが明示されました。

犯罪をした人の中には、仕事や住む家がなく生活が不安定な人や、高齢・障がいにより福祉的支援を必要とする人もいます。犯罪をした人の再犯を防止し、立ち直りを実現するためには、刑務所等における取組だけでなく、出所後の地域社会において孤立することなく、地域住民の理解と協力を得て、息の長い支援を受けながら社会復帰していくことが必要であり、これにより、新たな犯罪被害者を作らない、ひいては、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を実現することができます。

問27 あなたは、再犯防止に協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。(○はいくつでも)

1 保護司	2 更生保護女性会	3 協力雇用主	4 BBS会*
5 更生保護施設	6 教諭師 <small>きょうかいし</small>	7 篤志面接委員 <small>とくしめんせついいん</small>	8 少年補導員
9 少年指導委員	10 少年警察協助力員	11 いずれも知らない	12 その他()

*BBS(Big Brothers and Sisters)会は、友愛とボランティア精神を基礎とし、非行のある少年や社会に適応できない子ども達に「兄」や「姉」のような立場で接し、同じ目の高さで一緒に悩み、一緒に学び、一緒に楽しむことを通じて、立ち直りや自立を支援するとともに、非行防止活動を行う青年ボランティア団体のことをいいます。

問28 現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安心して安全に暮らせる地域だと思いませんか。

1 思う	2 どちらかといえば 思う	3 どちらかといえば 思わない	4 思わない	5 わからない
------	------------------	--------------------	--------	---------

問29 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。

1 思う	2 どちらかといえば 思う	3 どちらかといえば 思わない	4 思わない	5 わからない
------	------------------	--------------------	--------	---------

【問29で「1 思う」、「2 どちらかといえば思う」と答えた方へ】

問29-2 協力したいと思います理由を教えてください。(○はいくつでも)

1 刑務所で反省し改善更生し罪を償ったから	2 犯罪をした人も地域住民の1人だから
3 高齢や障がいなど、犯罪をした背景があるかもし れないから	4 その人の再犯による犯罪被害を受けたくないから
5 地域の安全のため	6 地域貢献活動に興味があるから
7 わからない	8 その他()

問 29—3 どのような協力をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 1 犯罪をした人に直接会って継続的に助言や援助をする | 2 協力雇用主(犯罪前歴を承知の上で雇用に協力する事業主)として犯罪をした人を雇用する |
| 3 更生保護施設(出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設)にお金や品物などを寄付する | 4 再犯防止に関するボランティア活動に参加する |
| 5 広報・啓発活動に参加する | 6 インターネットを活用して広報・啓発活動の情報を発信する |
| 7 わからない | 8 その他() |

【問 29 で「3 どちらかといえば思わない」、「4 思わない」と答えた方へ】

問 29—4 協力したいと思わない理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1 自分や家族の身に何か起きないか不安だから | 2 犯罪をした人と、かわりを持ちたくないから |
| 3 犯罪をした人と、どのように接すればよいかかわらないから | 4 自分自身にメリットがないから |
| 5 具体的なイメージがわからないから | 6 時間的余裕がないから |
| 7 興味がないから | 8 犯罪をした人への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから |
| 9 犯罪をした人に支援などするべきではないから | 10 わからない |
| 11 その他() | |

【再び、全員の方へ】

問 30 あなたは、再犯防止に関する広報・啓発活動の取組である「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」を聞いたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 両方とも聞いたことがある | 2 「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある |
| 3 「再犯防止啓発月間」のみ聞いたことがある | |
| 4 両方とも聞いたことがない | 5 わからない |

↓
【問 30 で「1 両方とも聞いたことがある」、「2 「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある」、「3 「再犯防止啓発月間」のみ聞いたことがある」と答えた方へ】

問 30—2 どのようにして知りましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------------------------------------|
| 1 パンフレットやポスターで知った | 2 駅前でのイベントやシンポジウムに参加して知った |
| 3 テレビや新聞で知った | 4 ホームページや Twitter や LINE といった SNS などのインターネットで知った |
| 5 知人から聞いて知った | 6 わからない |
| 7 その他() | |

問 31 あなたは、再犯防止のためには、具体的にどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 1 刑事司法関係機関(刑務所、少年院、保護観察所等)による一人ひとりの問題性に応じた、きめ細かな指導や支援を充実する | 2 仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築かせる |
| 3 犯罪をした高齢者や障がい者を有する者などに対して、福祉制度の利用を促進する | 4 被害者の置かれた状況や心情を理解させる |
| 5 犯罪を地域の問題として捉え地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をする | 6 気軽に相談できる相談先を設け孤立させない |
| 7 再犯をした場合の罰を重くする | 8 わからない |
| 9 その他() | |

問32 再犯防止のために、市は何をするべきだと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 1 再犯防止のための計画を策定する | 2 犯罪をした人を地方公共団体の機関や協力雇用主等で雇用する |
| 3 犯罪をした人の住居確保に向けた支援を行う | 5 住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする |
| 4 犯罪をした人に対する支援ネットワーク(病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成)を作り社会的孤立を防ぐ | |
| 6 再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする | 7 わからない |
| 8 その他() | |

<F> 避難行動要支援者支援について

質問中の用語の意味は次のとおりです。

「自動起動機能付きラジオ」とは、 コマラジから送信された緊急信号を受信するとコマラジが自動選局された状態で自動起動するラジオです。



「避難行動要支援者」とは、次の方をいいます。

- (1) 75 歳以上のひとり暮らしの方
- (2) 75 歳以上のみの世帯(同居を含む。)の世帯員
- (3) 障害者手帳取得者
- (4) 要介護・要支援認定を受けている在宅生活者
- (5) 難病の指定を受けている方

「個別避難計画」とは、避難行動要支援者ごとに、要支援者について避難支援等を実施するための計画

問33 地震が発生したときや大雨が降っているときなど災害が発生するおそれがある場合、どのような手段で避難情報などを収集していますか。よく利用するツールをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1 テレビ(データ放送除く) | 2 テレビのデータ放送(dボタン) |
| 3 ラジオ | 4 常時携帯している情報端末
(スマートフォン・携帯電話など) |
| 5 常時携帯していない情報端末
(パソコン・タブレットなど) | 6 情報を収集していない |
| 7 その他() | |

問 34 市で自動起動機能付きラジオを個別避難計画を策定された避難行動要支援者に無償貸与していますが、あなたはラジオの貸与を希望しますか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|------------|-------------|---------|
| 1 無償なら希望する | 2 有償でも希望する | 3 既に貸与されている | 4 希望しない |
| 5 わからない | | | |

問35 あなたは下記の呼びかけ等により、避難を開始しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------|
| 1 市職員、消防職員・団員、町内会役員等による避難
広報呼びかけ | 2 近所の人が避難を開始したことを確認したとき |
| 3 直接、誰かに避難を呼びかけられたとき | 4 あくまで自分で判断し避難する |
| 5 避難をしない | 6 その他() |

問 36 大地震などの災害が起こったときに、あなたは近隣に住む家族以外の避難行動要支援者のためにどのような助け合いや協力ができますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1 安否確認 | 2 安全な場所への避難の手助け |
| 3 災害状況や避難情報の伝達 | 4 家族や親族への連絡生活必需品の確保 |
| 5 一時的な保護 | 6 介護や手当て |
| 7 精神的ケア | 8 協力できない又は難しい |
| 9 わからない | 10 その他() |

【問36で「9 協力できない又は難しい」を選択した方へ】

問36-2 協力できない理由について、次のどれに該当しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|------------------------|
| 1 近所付き合いがあまりない | 2 避難行動要支援者がどこにいるかわからない |
| 3 家族にもお年寄りや乳幼児等がいるので、近所ま
で手が回らない | 4 自分自身の身体が不自由 |
| 5 他人のことにあまり関わりたくない | 6 行政が直接支援すべきだと思う |
| 7 その他 | |

問37 避難行動要支援者の対策として、あなたは行政に何を期待しますか。特に重要だと思うものを2つまでお
選びください。(○は2つまで)

- | | |
|----------------------------------------|-------------------------------------|
| 1 自動起動機能付きラジオなどの普及 | 2 地域での協力体制づくりの支援 |
| 3 おむつややわらかい食べ物等避難行動要支援者
用生活支援用品を蓄える | 4 避難行動要支援者の世帯情報を活用し、緊急時の
対応活動を行う |
| 5 避難行動要支援者の世帯を訪問し、防災などの相
談にのる | 6 障がいのある方への配慮 |
| 7 避難所で必要な配慮がなされるよう啓発を行う | 8 避難行動要支援者も参加した防災・避難訓練を実
施する |
| 9 特にない | 10 その他() |

<G>地域の支え合いについて

問38 あなたは普段どの程度、ご近所づきあいをしていますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 1 困ったときに、助け合える人がいる | 2 助け合うまではいかないが、親しく話をして
いる人がいる |
| 3 地域のお祭りや季節の行事などの活動の時だ
けつきあう | 4 つきあいはしているが、それほど親しくない |
| 5 会えばあいさつする程度 | 6 つきあいはほとんどない |

問39 あなたは、地域における問題や課題解決に向けた住民同士の自主的なささえあい、たすけあいの関係が
必要だと思いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1 必要だと思う | 2 必要だと思わない | 3 わからない |
|----------|------------|---------|

問40 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動や地域住民の居場所作りやイベント
の企画を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営(お世話役)として参
加してみたいと思いますか。(お世話役としての地域づくりへの参加意向)(〇は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|---------|
| 1 参加したい | 2 参加したくない | 3 わからない |
|---------|-----------|---------|

問41 あなたは、今後、地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。

(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 できるだけ、取り組んでいきたい | 2 機会があれば、取り組んでもよい |
| 3 取り組みたいが、できない | 4 あまり取り組みたくない |

問41-2 地域活動・ボランティア等で取り組みたいことなどがありましたら、ご自由にお書きくださ
い。

調査にご協力いただきありがとうございました。

記入漏れがないかどうか確認画面でお確かめの上、

令和5年1月31日(火)までに登録を完了してください。